

令和 5 年度がスタートしました

令和 5 年 4 月

令和 5 年度がスタートしました。先月の市議会において議論を深め、議決を得た内容について、今月号の中でお示しています。

この当初予算は、足利市が置かれている厳しい現状を直視しつつ、コロナにより停滞した社会経済活動の再起動を目指し編成しました。①急速に進行する少子化への対策②産業団地開発や観光振興など将来活力につなげる産業力の強化策③自治体 DX の推進等に重点を置きました。

主なものをいくつか抜粋しますと、①については、急激な出生数の減少に危機感を持ち、市単独「出産祝い金事業」の創設、おたふく風邪の予防接種費用への助成、低所得世帯を対象とした放課後児童クラブ利用料減免、保育園等の送迎バスへの安全装置設置支援等を実施します。ヤングケアラーコーディネーターも新設します。また、婚姻率の改善を目指し、昨年度からスタートした結婚支援事業を拡充し、結婚相談所登録料への補助制度を創設します。

これらの取り組みにより、子育て世帯・子育て世代から選ばれるまちを目指します。

②については、多く寄せられている企業立地需要に応えることで、雇用の創出や市内経済活性化等の連鎖反応を期待し、産業団地開発に本格的に着手します。国際戦略も進め、諸外国との連携強化により、市内企業の人材確保や海外展開支援につなげていきま

す。また、IT 関連産業への支援に加え、成長が期待されるドローン関連事業への支援を新たに行っていきます。

さらに、文化観光を継続して推進する中で、夜景サミットの誘致にも取り組み、本市の魅力を発信し、本市への人の流れを創出していきます。

③については、特に教育分野の DX も進めます。配布しているタブレット端末を有効活用して、既にスタートした電子図書館に加え、AI ドリルを導入する他、デジタル教科書を拡充し、学力の向上につなげていきます。もちろん全てをデジタル化することがいいとは考えていません。デジタルを有効に活用し、教育環境を整えていきます。

厳しい財政事情の中、創意工夫を重ね、今取り組むべき課題に果敢に挑みます。各施策を着実に実行し、成果を上げられるよう努めてまいります。